

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●健康福祉部	生活安全部
	節	1	災害に強いまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合い、市民の安全を確保する体制が整っています。</p>
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 自主防災組織結成率	97.70%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	97.7%	100%	100%	100%	1	1	1	—	—	—
② 災害時応援協定締結数	33件	—	—	—	—	37件	—	—	—	—	40件
	—	36件	37件	41件	44件	45件	45件	45件	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域防災計画の推進	8,755	4	3	1	0	社会福祉課、危機管理防災課
2 地域防災力の強化	38,197	4	2	2	0	危機管理防災課
3 避難行動要支援者対策の推進	0	1	1	0	0	社会福祉課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	46,952	9	6	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	1	災害に強いまちづくり	評価者名	遠藤雅之
評価主体が推進する施策の概要	避難行動要支援者対策の推進：八潮市災害時要援護者避難計画に基づき、災害時に自ら避難することができない要援護者が、迅速かつ安全に避難することができるような体制を整備する。 火災、風水害その他不慮の災害による被害者又は遺族に対し見舞金を支給する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>①情報共有の取組 要援護者リストの更新を行うとともに、関係機関に対し要援護者リスト及び個別計画書の情報提供を行った。</p> <p>②福祉避難所の取組 地域防災計画について部内関係各課と打合せを行い、現状における共通認識を図った。</p> <p>③災害見舞金の支給 火災（半）により被害のあった2名に災害見舞金を支給した。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>① 情報共有の取組では、町会・自治会に対し要援護者名簿等を提供しているが、一部の町会・自治会からは「町会・自治会未加入者の取扱い」や「個人情報の管理方法」、「具体的な支援策」などに対する意見が出されている。今後も、避難行動要支援者対策の推進に向け、理解を得ながら取り組む必要がある。</p> <p>② 福祉避難所の取組では、現在市内には福祉避難所は2箇所しかなく、十分な数が確保できているとは言えない状況にある。 また、要援護者の支援に携わる人材の確保を含め、具体的な運営方法等の詳細について検討する必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	要援護者リストの掲載内容を更新するとともに、要援護者リスト及び個別計画書について、各関係機関と情報共有を図っている。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
	(説明) 八潮市災害時要援護者避難計画に基づき、災害時に自ら非難することができない要援護者が、迅速かつ安全に避難できるよう、引続き個別計画書の提出に係る啓発を行う。 令和5年度は個別計画の更新時期となっており、更新にあわせて、国の避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針の改定に合わせた内容に改正する。各関係機関への情報共有などを図りながら、更なる避難行動要支援者対策の推進に努める。 障がい者支援や高齢者施設に協力をいただき、福祉避難所の拡充に努める。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
1	03 01 03	避難行動要支援者対策の推進	避難行動要支援者対策推進事業
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	03	01	01	地域防災計画推進事業	■		■	生活安全部	危機管理防災課	8,614	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	03	01	01	災害救助事業				生活安全部	危機管理防災課	51	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	03	01	01	災害援護資金貸付金				健康福祉部	社会福祉課	0	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	03	01	01	災害見舞金支給事業				健康福祉部	社会福祉課	90	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	03	01	02	自主防災組織育成事業	■	■	■	生活安全部	危機管理防災課	6,225	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	03	01	02	総合防災訓練実施事業				生活安全部	危機管理防災課	16	○	☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持
	03	01	02	応急物資確保事業			■	生活安全部	危機管理防災課	14,353	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	03	01	02	防災行政無線管理事業				生活安全部	危機管理防災課	17,603	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	03	01	03	避難行動要支援者対策推進事業	■			健康福祉部	社会福祉課		○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
										90		部の事業費計			

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●	生活安全部	健康福祉部
	節	1	災害に強いまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合い、市民の安全を確保する体制が整っています。</p>
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 自主防災組織結成率	97.70%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	97.7%	100%	100%	100%	1	1	1			
② 災害時応援協定締結数	33件	—	—	—	—	37件	—	—	—	—	40件
	—	36件	37件	41件	44件	45件	45件	45件			
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域防災計画の推進	8,755	4	3	1	0	社会福祉課、危機管理防災課
2 地域防災力の強化	38,197	4	2	2	0	危機管理防災課
3 避難行動要支援者対策の推進	0	1	1	0	0	社会福祉課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	46,952	9	6	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	1	災害に強いまちづくり	評価者名	荒浪 淳
評価主体が推進する施策の概要	1. 地域防災計画の推進 地域防災計画、業務継続計画、備蓄計画、災害時行動マニュアル、ハザードマップ及び八潮市国土強靱化地域計画の改定等を適宜行うとともに、市民の生命、身体及び財産の保護に取り組む。 2. 地域防災力の強化 防災訓練や研修会等を通じて防災意識の醸成を図るとともに、自主防災組織の育成及び支援を行い地域防災力の強化に努める。また、防災行政無線やSNSなどの情報伝達手段の充実を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災関係法、国の防災基本計画、埼玉県地域防災計画等の改定の動向を踏まえ、八潮市地域防災計画の見直し及び改定を行った。 ・八潮市国土強靱化地域計画の進行管理を行った。 ・八潮市災害時受援計画を策定した。 ・アルファ米、飲料水、非常用簡易トイレ等を備蓄した。 ・総合防災訓練（柳之宮小学校）は、新型コロナウイルス感染症の影響により内容を変更し、避難所開設訓練を実施した。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画の策定を促すため、自主防災組織にどのように働きかければコロナ禍でも取り組んでいただけるかが課題である。 ・防災行政無線が届きにくい地域への対応が必要である。 ・物資を備蓄する場所の確保が課題である。 ・新型コロナウイルス感染症に対応した避難所の運営など実践的な訓練が必要である。 ・共助の中核となる自主防災組織に防災に関する知識や技能等を持つ人材が少ないことや役員の高齢化により活動する人材が減少している。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	八潮市地域防災計画を見直すとともに、国土強靱化地域計画の進行管理を行うなど、防災力の強化に努めたこと。新型コロナウイルス感染症拡大のため、総合防災訓練の内容を変更し避難所開設訓練を実施するなど、コロナ禍においても必要な業務を実施したことから、概ね順調であると評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他			
	(説明) <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織連絡協議会と連携を図りながら研修会等を開催し、地区防災計画の必要性を説明する。 ・防災行政無線の更なる充実を図るため、難聴地域への効果的な対策を実施する。 ・避難所の施設管理者と連携を図りながら、備蓄場所の確保に努める。また現在分散している市防災備蓄倉庫について、市の所有する未利用地が活用できないか検討する。 ・職員の防災意識を高めるための研修会等を開催する。 ・防災訓練や防災に関する研修を通じて、市民の防災知識の普及を図るとともに、自主防災組織の活動支援を行い地域防災力の強化に努める。 ・職員の防災意識を高めるための研修会等を開催する。 			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード	施策の内容		事務事業
	章 節 施策			
1	03 01 01	地域防災計画の推進		地域防災計画推進事業
2	03 01 02	地域防災力の強化		自主防災組織育成事業
3	03 01 02	地域防災力の強化		防災行政無線管理事業
4	03 01 02	地域防災力の強化		応急物資確保事業
5	03 01 02	地域防災力の強化		総合防災訓練実施事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源		
	章	節	施策											事業費	労働量	
■	03	01	01	地域防災計画推進事業	■		■	生活安全部	危機管理防災課	8,614	○	☆☆	見直して継続	増加	増加	
■	03	01	01	災害救助事業				生活安全部	危機管理防災課	51	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	03	01	01	災害援護資金貸付金				健康福祉部	社会福祉課	0	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	03	01	01	災害見舞金支給事業				健康福祉部	社会福祉課	90	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
■	03	01	02	自主防災組織育成事業	■	■	■	生活安全部	危機管理防災課	6,225	○	☆☆	見直して継続	増加	増加	
■	03	01	02	総合防災訓練実施事業				生活安全部	危機管理防災課	16	○	☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持	
■	03	01	02	応急物資確保事業			■	生活安全部	危機管理防災課	14,353	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
■	03	01	02	防災行政無線管理事業				生活安全部	危機管理防災課	17,603	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加	
	03	01	03	避難行動要支援者対策推進事業	■			健康福祉部	社会福祉課		○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加	
										46,862		部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない， ○：ある程度課題がある， ●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調， ☆☆：概ね順調， ☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●健康福祉部	生活安全部
	節	2	危機に備えた体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>新型インフルエンザ等の感染症、放射性物質事故、テロ行為、武力攻撃事態等の危機事象に備える体制が整っています。</p>
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 危機管理体制の見直し回数（毎年）	0回	-	-	-	-	1回	-	-	-	-	1回
	-	0回	0回	0回	0回	1回	0回	0回			
②											
③											
④											
⑤											

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 危機管理体制の充実	252	1	1	0	0	危機管理防災課
2 感染症対策の推進	233,602	2	0	2	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	233,854	3	1	2	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	2	危機に備えた体制づくり	評価者名	遠藤 雅之
評価主体が推進する施策の概要	【感染症対策の推進】 関係機関と連携を図り、新型インフルエンザ等の感染症が拡大する危機事象等に即応できる体制づくりを進める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>新型コロナウイルス感染症については、感染状況が流動的であるため、その時々に応じて求められる情報提供や、県と連携し自宅療養者への支援事業などを実施した。</p> <p>また、新型コロナウイルスも含めた新型インフルエンザ等の新感染症発生に備え、感染対策物品の備蓄を計画的に行った。</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<p>新型コロナウイルスを含めた新型インフルエンザ等の感染症発生時においては、感染状況に応じた迅速な対応ができるよう庁内関係課や関係機関と連携した体制づくりの構築が必要である。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	「新型インフルエンザ等対策業務継続計画」及び「新型インフルエンザ等に係る住民接種の手引き」が未完成ではあるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、その時々に応じて求められる対応を行ったことから概ね順調と評価した。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他																																							
	(説明)																																							
<p>新型コロナウイルス対策事業については、感染症法上の5類移行を踏まえ、今後については、本来の感染症対策、新型インフルエンザ等対策の中で実施することを視野に入れ、事業の必要性について検討する。なお、感染拡大防止対策や感染拡大防止のための正しい知識の普及啓発については、感染状況に応じて引き続き、国や県の動向を注視しながら関係部署や関係機関と連携を図り適切に対応する。</p> <p>「新型インフルエンザ等対策業務継続計画」及び「新型インフルエンザ等に係る住民接種の手引き」については、「新型コロナウイルス対策業務継続計画」を踏まえて順次作成するとともに、計画的に感染症対策物品等の備蓄を進める。</p>																																								
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>感染症対策の推進</td> <td>新型インフルエンザ等対策推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>感染症対策の推進</td> <td>新型コロナウイルス対策事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	03	02	02	感染症対策の推進	新型インフルエンザ等対策推進事業	2	03	02	02	感染症対策の推進	新型コロナウイルス対策事業	3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	03	02	02	感染症対策の推進	新型インフルエンザ等対策推進事業																																			
2	03	02	02	感染症対策の推進	新型コロナウイルス対策事業																																			
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	03	02	01	危機管理体制推進事業	■		■	生活安全部	危機管理防災課	252	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	03	02	02	新型インフルエンザ等対策推進事業	■			健康福祉部	健康増進課	946	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	03	02	02	新型コロナウイルス対策事業			■	健康福祉部	健康増進課	232,655	○	☆☆	終了・完了	削減	削減
										233,602	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部	健康福祉部
	節	2	危機に備えた体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>新型インフルエンザ等の感染症、放射性物質事故、テロ行為、武力攻撃事態等の危機事象に備える体制が整っています。</p>
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 危機管理体制の見直し回数（毎年）	0回	-	-	-	-	1回	-	-	-	-	1回
	-	0回	0回	0回	0回	1回	0回	0回			
②		-	-	-	-						
	-										
③		-	-	-	-						
	-										
④		-	-	-	-						
	-										
⑤		-	-	-	-						
	-										

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 危機管理体制の充実	252	1	1	0	0	危機管理防災課
2 感染症対策の推進	233,602	2	0	2	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	233,854	3	1	2	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	2	危機に備えた体制づくり	評価者名	荒浪 淳
評価主体が推進する施策の概要	1. 危機管理体制の充実 様々な危機事象の発生に備え、国や県の取組を踏まえながら適宜「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」の見直しを図るとともに、消防、警察及び自衛隊などとの連携強化に努める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 「八潮市危機管理指針」の見直しの検討を行った。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> 「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」の周知を徹底し、危機意識の醸成を図る必要がある。 改めて庁内における取組体制を確認するとともに、事前の備えが必要である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	国・県からの情報を参考にしながら適切に運用が図れたことから、概ね順調であると評価する。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> 危機管理事象発生に備え、「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」に基づき危機管理体制の充実を図るため、必要に応じて見直しを行う。 																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>危機管理体制の充実</td> <td>危機管理体制推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	03	02	01	危機管理体制の充実	危機管理体制推進事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	03	02	01	危機管理体制の充実	危機管理体制推進事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	03	02	01	危機管理体制推進事業	■		■	生活安全部	危機管理防災課	252	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	03	02	02	新型インフルエンザ等対策推進事業	■			健康福祉部	健康増進課	946	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	03	02	02	新型コロナウイルス対策事業			■	健康福祉部	健康増進課	232,655	○	☆☆	終了・完了	削減	削減
										252 部の事業費計					

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部		
	節	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>市民との協働※により犯罪の起きにくいまちづくりが進み、市民は犯罪が少ない安全で快適なまちで暮らしています。</p>
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 犯罪認知件数	1,271件	—	—	—	—	1,100件	—	—	—	—	1,000件
	—	926件	922件	949件	846件	648件	679件	841件			
② 防犯団体数	45団体	—	—	—	—	46団体	—	—	—	—	48団体
	—	45団体	44団体	40団体	40団体	38団体	38団体	37団体			
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 防犯力の強化	3,399	1	0	1	0	交通防犯課
2 防犯施設の整備	32,031	1	1	0	0	交通防犯課
3 警察署・交番の誘致	2	1	0	0	1	交通防犯課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	35,432	3	1	1	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり	評価者名	荒浪 淳
評価主体が推進する施策の概要	1. 防犯力の強化 自主防犯組織に対する防犯用品の貸与と青色回転パトロール車を使用した防犯活動の支援を通して地域防犯力の強化に努める。 2. 防犯施設の整備 町会自治会が設置管理している防犯灯に対して補助金を交付し整備を促進する。 3. 警察署・交番の誘致 県知事及び県警察本部長に対し、警察署・交番の設置及び警察官の増員について要望する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯組織32団体に対し、防犯用品を貸与した。 ・青色回転パトロール車を所有する自主防犯組織2団体に対し、補助金を交付した。 ・防犯協会と連携して戸別訪問を実施した。 ・町会自治会に対し防犯灯の整備に係る補助金を交付し、40基が新設されるとともに141基がLED灯に更新された。 ・知事と県警察本部長に対し警察署等の設置に関する要望を行うとともに、八潮市警察署誘致活動研究会に書面で要望活動や県内の状況を報告した。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪認知件数が、前年と比較して増加（162件増）している。 ・防犯カメラの整備について、今後、学校、町会自治会及び警察と協議しながら必要に応じて新たな方針の検討が必要である。 ・警察署の設置に関する県警察本部の見解では、既存警察署の改築・改修を優先するとともに不足している警察官の確保が課題とのことである。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	警察署・交番の誘致活動については、課題があり進展が見られない状況となっているが、近年のコロナ禍においても、町会自治会や防犯関係団体と連携しながら防犯施設整備や防犯活動に取り組んでいることから、概ね順調と評価する。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進			<input type="checkbox"/> 見直して推進	<input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進
施策の展開方針	(説明)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・年々手口が巧妙化する振り込め詐欺に対して、犯罪の手口や必要な対策を啓発することで、市民の意識の醸成を図る。 ・防犯カメラの更新時期に併せて、設置、管理及び運用に関するあり方を総合的に検討する。 ・警察署の設置や警察官の増員と併せて、市内パトロールの強化を要望する。 				
重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	03	03	01	防犯力の強化	防犯活動普及事業
2	03	03	02	防犯施設の整備	防犯施設整備事業
3	03	03	03	警察署・交番の誘致	警察署・交番設置促進事業
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源		
	章	節	施策											事業費	労働量	
■	03	03	01	防犯活動普及事業	■	■	■	生活安全部	交通防犯課	3,399	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
■	03	03	02	防犯施設整備事業	■	■	■	生活安全部	交通防犯課	32,031	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
■	03	03	03	警察署・交番設置促進事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	2	○	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
										35,431	部の事業費計					

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部	消防本部
	節	4	市民を守るまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>消防力が充実し、迅速かつ的確に消防・救急活動を行う体制が強化されており、市民の生命と財産が守られ、安全で安心して暮らせるまちとなっています。</p>
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 消防団員の定員充足率	97.50%	—	—	—	—	98%	—	—	—	—	98%
	—	99.2%	95.4%	94.6%	0.907	0.886	0.869	0.848			
② 上級、普通救命講習・救急入門コース受講者数	1,434人	—	—	—	—	1,650人	—	—	—	—	1,700人
	—	1,512人	1,401人	1,479人	1,565人	157人	33人	310人			
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 消防体制の強化	1,017,558	1	1	0	0	危機管理防災課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	1,017,558	1	1	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	4	市民を守るまちづくり	評価者名	荒浪 淳
評価主体が推進する施策の概要	<p>・消防体制の強化 消防広域化のメリットを最大限に活かして消防力の充実・強化に努める。また、消防団を中核とした地域消防力の向上に努める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・市民の生命、身体及び財産を守るため、草加八潮消防組規約に基づいて算出された経費を負担（共通経費の負担割合は人口割、単独経費は全額負担）した。</p> <p>・職員の相互派遣により草加八潮消防組合と連携を図った。</p> <p>・台風等の災害や新型コロナウイルス感染症対策などを通じて草加八潮消防組合との連携強化に努めた。</p> <p>・仮称「八潮消防署南分署」の整備について、草加八潮消防組合と連携協力した。</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<p>・仮称「八潮消防署南分署」の建設地が決定し、建設スケジュールが示されたところであり、今後は、用地取得の手続きの段階となる。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<p>職員相互派遣や災害対応等を通じて草加八潮消防組合との連携強化が図れている。また、仮称「八潮消防署南分署」については、建設地が決定し、今後は用地取得に向けた手続き段階となっていることから、順調と評価する。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
	<p>→ <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他</p>			
施策の展開方針	(説明)			
	<p>・職員の相互派遣を継続して実施し、更なる草加八潮消防組合との連携強化に努める。</p> <p>・訓練などを通じて日頃より顔の見える関係を構築し、草加八潮消防組合との連携強化に努める。</p> <p>・草加八潮消防組合を通じて災害時に地域において重要な役割を担う消防団との連携強化に努める。</p> <p>・仮称「八潮消防署南分署」の整備について、草加八潮消防組合と情報を共有する。</p>			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード	施策の内容		事務事業
	章 節 施策			
1	03 04 01	消防体制の強化		広域消防推進事業
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	03	04	01	広域消防推進事業	■			生活安全部	危機管理防災課	1,017,558	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
										1,017,558	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部		
	節	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>交通ルールを遵守する意識とマナーが向上し、自動車、自転車、歩行者が互いに思いやりと譲り合いの気持ちで、安全で快適に道路を利用しています。</p>
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 交通事故件数	528件	—	—	—	—	510件以下	—	—	—	—	490件以下
	—	410件	367件	343件	282件	239件	224件	215件			
② 交通安全教室開催数と参加者数	43件 7,283人	—	—	—	—	46件 7,500人	—	—	—	—	48件 7,700人
	—	50件 9,476人	49件 8,141人	45件 7,882人	51件 7,986人	13回 1,306人	26回 3,590人	32回 3,236人			
③ 道路照明灯の設置	2,956基	—	—	—	—	3,070基	—	—	—	—	3,170基
	—	3,111基	3,131基	3,233基	3,240基	3,255基	3,296基	3,349基			
④ 道路反射鏡の設置	1,241基	—	—	—	—	1,310基	—	—	—	—	1,370基
	—	1,276基	1,314基	1,339基	1,358基	1,367基	1,385基	1,400基			
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 交通安全意識の高揚	16,055	2	0	2	0	交通防犯課
2 交通安全施設の整備	104,200	4	1	3	0	交通防犯課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	120,255	6	1	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり	評価者名	荒浪 淳
評価主体が推進する施策の概要	<p>1. 交通安全意識の高揚 子どもや高齢者を対象とした交通安全教室を実施するとともに、広く交通安全思想の普及啓発に努める。また、登下校時の児童及び生徒の安全を確保するため交差点に交通指導員を配置する。</p> <p>2. 交通安全施設の整備 道路照明灯、道路反射鏡及び路面標示を整備する。また、放置自転車や放置自動車に対する指導を実施するとともに、移動及び撤去等の対策を推進する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・八條中と八幡中でスクエアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を実施した。</p> <p>・自転車用ヘルメットの購入費補助金を子ども66人、高齢者14人に交付した。</p> <p>・新たに道路照明灯5基、道路反射鏡11基及び外側線や「止まれ」などの路面標示を整備した。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>・令和4年は、交通死亡事故が5件発生し、人口10万人当たりの死者数で県内ワースト6位となっており、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づける必要がある。</p> <p>・令和4年の人口1万人当たりの自転車事故死傷者数は県内ワースト2位となっており、「八潮市自転車の安全な利用の促進に関する条例」に基づいて、引き続き対策を実施する必要がある。</p> <p>・不足している交通指導員の確保が課題である。</p> <p>・自転車用ヘルメットの購入費補助金では、特に高齢者の利用実績が低調である。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	交通死亡事故は県内で人口10万人当たりの死者数でワースト6位、また、人口1万人当たりの自転車事故死傷者数は県内ワースト2位であるが、道路照明灯、道路反射鏡などの交通安全施設の整備や、自転車ヘルメット購入費補助金制度を継続し交通事故の軽減に努めていることから、概ね順調と評価する。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進				
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他				
	<p>(説明)</p> <p>・「八潮市自転車の安全な利用の促進に関する条例」に基づき、より効果的な自転車事故対策を集中的に実施する。</p> <p>・自転車用ヘルメットの着用を普及させるため、啓発に努めるとともに、自転車用ヘルメット補助金制度の周知を図る。</p> <p>・駅周辺の商業施設に対して、自転車の適正な管理について指導する。</p>				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		施策の内容	事務事業	
	章	節			施策
1	03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全指導・教育事業
2	03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全運動推進事業
3	03	05	02	交通安全施設の整備	交通環境整備事業
4	03	05	02	交通安全施設の整備	放置自転車対策事業
5	03	05	02	交通安全施設の整備	路上放置自動車等対策推進事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	03	05	01	交通安全指導・教育事業	■	■		生活安全部	交通防犯課	14,121	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	03	05	01	交通安全運動推進事業	■			生活安全部	交通防犯課	1,933	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	03	05	02	放置自転車対策事業				生活安全部	交通防犯課	10,771	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	03	05	02	路上放置自動車等対策推進事業				生活安全部	交通防犯課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	03	05	02	駐車場整備促進事業				生活安全部	交通防犯課		-	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	03	05	02	交通環境整備事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	93,428	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										120,254	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 市民活力推進部		
	節	6	安全・安心で豊かな消費生活づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	様々な消費者が、消費生活について情報を取得し、学ぶことによって、自ら判断し適切に行動することができ、安全・安心で豊かな消費生活を送っています。 また、トラブルに陥った際には相談できる環境が整っています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 消費生活セミナー等講座数と参加者数	1回 64人	—	—	—	—	2回 70人	—	—	—	—	2回 76人
	—	1回 41人	1回 28人	1回 35人	1回 31人	0回 0人	0回 0人	1回 53人			
② 消費生活相談件数	332件	—	—	—	—	363件	—	—	—	—	390件
	—	369件	377件	423件	362件	401件	426件	494件			
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 自立した消費者の育成	737	1	0	1	0	商工観光課
2 消費者保護対策の推進	364	1	0	1	0	商工観光課
3 消費者団体の育成・協働	13	1	0	1	0	商工観光課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	1,114	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	6	安全・安心で豊かな消費生活づくり	評価者名	田口 周一
評価主体が推進する施策の概要	①自立した消費者の育成として、消費生活展や消費生活に関するセミナーを開催するなど、消費者が主体的かつ合理的に判断し、消費行動がとれるよう、消費者意識の高揚を促進する。また、関係機関が発行する情報紙等を活用した消費生活に関する情報の提供を行うとともに、消費生活に関するトラブルを未然に防止するため、消費者啓発パネル展を開催する。 ②消費者保護対策の推進として、消費生活に関する相談及び多重債務問題、苦情等に対応するため、消費生活センターの相談体制の充実を図る。 ③消費者団体の育成として、市内消費者団体が自主的に行う消費生活に関する活動に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①消費生活展を開催するとともに、市内消費者団体と市の共催により、消費生活に関するセミナーを開催した。また、消費者啓発パネル展を市役所等で開催し啓発品を配布した。（5月、6月、8月、9月、11月） ②消費生活に関する相談や多重債務問題、苦情等に対応するため、月曜日から金曜日まで、消費生活センターで消費生活相談を実施した。 ③市内の消費者団体が自主的に行う消費生活に関する活動に対し補助金を交付した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	①消費者に波及性の高い消費生活展やパネル展示のあり方を検討・実施する必要がある。 ②年々消費生活相談の内容が複雑・高度化しているため、関係機関が開催する研修会等に消費生活相談員が参加し、常に最新の情報を入手するなど、スキルアップを図り対応する必要がある。また、消費者向け啓発においても、最新の悪質商法の手口を情報提供するなど、臨機応変に対応し、消費者被害の予防に繋げる必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	①消費生活相談を月曜日から金曜日まで開設し、多くの消費者トラブルの解決につながった。 ②消費生活展や消費者啓発パネル展を開催して啓発品を配布するなど、消費者向けの啓発に努めた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進			<input type="checkbox"/> 見直して推進	<input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進
施策の展開方針	(説明)				
	①消費生活センター（平成21年9月設置）の機能として、月曜日から金曜日まで週5日の消費生活相談を継続して実施する。また、消費生活相談員による研修等への参加の機会を確保することに加え、消費生活相談員が隔月で弁護士から相談に対する専門的なアドバイスを受けられる場を設け、複雑・高度化する消費者被害の解決を図る。 ②消費生活展を開催する。 ③消費生活セミナーを開催する。 ④高齢者が陥りやすい消費者被害を未然に防止するため、出前講座等において啓発品を配布する。 ⑤消費者団体を育成し、その活動を支援する。				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		施策の内容	事務事業	
	章	節 施策			
1					
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源		
	章	節	施策											事業費	労働量	
■	03	06	01	消費生活情報提供事業	■			市民活力推進部	商工観光課	737	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
■	03	06	02	消費生活相談事業	■			市民活力推進部	商工観光課	364	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
■	03	06	03	消費者団体活動費補助事業				市民活力推進部	商工観光課	13	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
										1,114	部の事業費計					

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ